

海南市 津波ハザードマップ

日方地区

想定地震 南海トラフ巨大地震

このハザードマップの津波浸水域は一つの想定にすぎません。実際には想定通りの津波が来るとは限らず、どこまで浸水するかもわかりません。
このマップを目安とし、皆さんの津波避難場所を検討してください。
津波避難場所は、より安全レベルの高い場所（標高が高く、より海から離れた場所）が理想ですが、避難が遅れたり、そのような場所への避難が難しい場合があります。
そういった場合に備え、あらかじめ複数の津波避難場所を考えておきましょう。
また、津波避難場所までの避難経路もマップへ複数記入しておきましょう。

～MEMO～

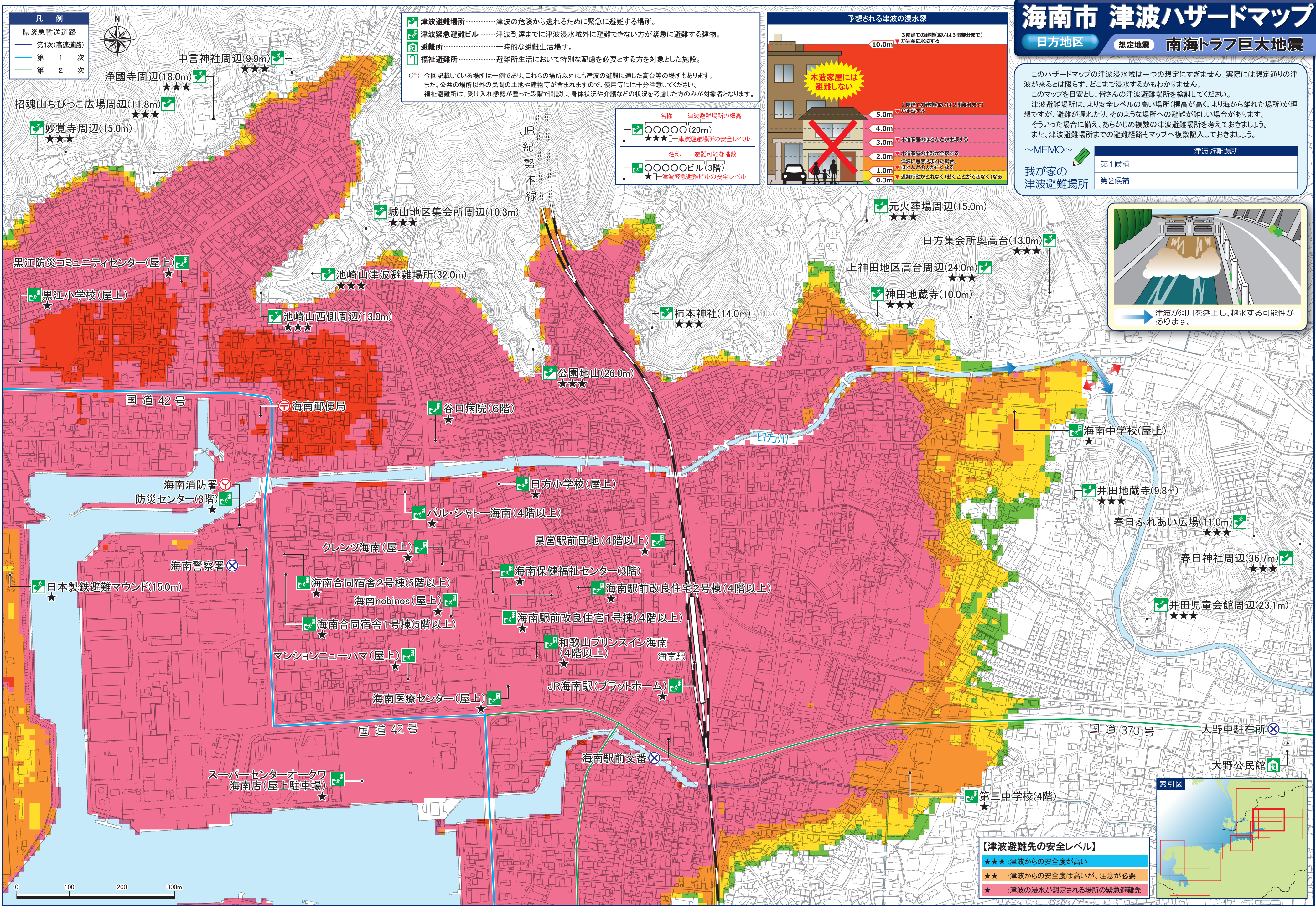
我が家の津波避難場所

	津波避難場所
第1候補	
第2候補	



名称	津波避難場所の標高
〇〇〇〇〇〇(20m)	★★★★津波避難場所の安全レベル
名称	避難可能な階数
〇〇〇〇〇〇ビル(3階)	★★津波緊急避難ビルの安全レベル

- 津波避難場所.....津波の危険から逃れるために緊急に避難する場所。
 - 津波緊急避難ビル.....津波到達までに津波浸水域外に避難できない方が緊急に避難する建物。
 - 避難所.....一時的な避難生活場所。
 - 福祉避難所.....避難所生活において特別な配慮を必要とする方を対象とした施設。
- (注) 今回記載している場所は一例であり、これらの場所以外にも津波の避難に適した高台等の場所もあります。
また、公共の場所以外の民間の土地や建物等が含まれますので、使用等には十分注意してください。
福祉避難所は、受け入れ態勢が整った段階で開設し、身体状況や介護などの状況を考慮した方が対象者となります。



浸水域や浸水深データは、平成25年に和歌山県が作成した計算結果を使用しています。